

# 壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会 会議録

会議名：第1回壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会

日時：平成31年4月24日（水） 午後2時～午後3時30分

場所：壬生町役場 2F 正庁

出席者：委員10名

三橋 伸夫、大西 良雄、板橋 徳治、内山 功、瀬戸 洋子、関和 重行、広瀬 聡、金子 裕之、早乙女 春香、中村 元子

（欠席者5名：川島 有由、白久 久雄、青木 隆司、神永 信男、福田 倫子）

事務局9名

小菅町長（あいさつ後退席）、櫻井副町長、出井総務部長、大垣総合政策課長、増山新庁舎建設室長、玉田係長、葭葉係長、黒澤係員、宇賀神係員

傍聴人数：報道関係者3社（3名）

## 【議事内容】

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

小菅町長より代表者 三橋 伸夫 氏へ委嘱状交付

### 3 あいさつ（小菅町長）

役場新庁舎については、総合運動場（CDグラウンド）に移転新築することとなったが、庁舎移転後の現本庁舎周辺地域の活性化が町の大きな課題になっていることから、本日お集まりいただいた各界の有識者の皆さまに活発に議論いただくことで、本庁舎跡地を有効に活用し、地域に賑わいを生み出すためのアイデアをいただきたい。人口減少により、公共施設の跡地を活用する事例が増えていることから、全国的にもモデルとなるような取組みを目指してほしい。

### 4 委員紹介

各委員自己紹介

事務局自己紹介

### 5 壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会設置要綱について

事務局から資料1「本庁舎跡地等活用検討委員会設置要綱」の内容説明とともに、本委員会は活性化策の検討が目的であることから、本庁舎跡地への支所、出張所機能の配置については検討議題としない旨の説明を行った。

### 6 委員長、副委員長の選出

委員長、副委員長の選出について、委員から事務局案の提示依頼があったため、委員長には学識経験者である三橋委員、副委員長については自治会連合会会長である大西委員を推薦し、全会一致で承認され、決定した。

### 7 議事

#### (1) 委員会運営に関する確認事項について

事務局から資料2「壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会運営に関する確認事項について」により、会議は原則として公開とする旨など5項目について内容説明を行った。

#### (2) 新庁舎建設の経緯について

事務局から資料3「新庁舎建設の経緯について」により、新庁舎建設の必要性及び建設位置の決定経過を受けて、現本庁舎跡地の活性化策が求められている経緯の説明を行った。

(3) 本庁舎跡地等活用の検討方針について

事務局から資料4「本庁舎跡地等活用の検討方針について」により、本庁舎跡地等活用の検討方法や現時点の活性化策素案の骨子、今後の検討スケジュールについての説明を行った。

(4) ワーキンググループの設置について

事務局から資料5「壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会ワーキンググループ設置規約(案)」及び資料6「本庁舎跡地等活用検討委員会WGメンバー構成(案)」により、ワーキンググループの設置規約と構成メンバーについての説明を行った。

8 その他

【質疑応答】

委員) ワーキンググループ(WG)の役割は何か? また、開催時期はいつになるのか?

回答) WGでは、活性化策の実務的な検討や具体的なたたき台を作成するための議論をいただき、随時、本委員会に説明して大所高所からのご意見をいただいで活性化策を方向づけていく役割分担を考えている。各団体から、5月半ばまでにグループ員の推薦をしていただき、6月中には第1回WGを開催することとしたい。

委員長) 自治会、商工会などの各団体におかれては、まちづくりに関心のある方を推薦願いたい。

委員) 資料4に出てくる本庁舎(耐震性が不足している棟)の解体は、すべて取り壊すということか?

回答) 本庁舎の主要部分は取り壊すことになるが、後から増築した棟や周辺施設は耐震基準を満たしているものもあるので、今後の検討の中で、取り壊す部分とリノベーションして活用する部分を決めていきたい。

委員長) 取り壊す部分と残して活用する部分の線引きは、本委員会での検討に委ねられたことになると思う。

委員) 跡地活性化策のイメージ図はあるのか? また、まちなか全体を活性化するための構想図のようなものはあるのか?

回答) それらの図面は庁内検討委員会で準備しているところであり、まずはWGの中で磨き上げを行ったうえで、随時、本委員会にも提示することとしたい。

委員) 地域住民以外に観光客も跡地施設に集客して賑わいを生み出す計画であるが、町としての観光活性化や交通アクセス整備の課題は把握しているのか?

回答) 庁内検討委員会で、観光や都市計画の所管課長も入って議論しており、課題の整理に努めている。また、今後のWGの中での専門家のアドバイスや本委員会の各有識者にもご意見をいただくことで、跡地の活性化策を具体化していきたい。

委員長) 観光だけではなく、町民が交流できる場をつくるのが基本になると思う。壬生地区だけでなく町内全体から集まれる多機能な場が求められると考える。

委員) 町外の視点から見ると、壬生地区は歴史のある町で、おもちゃのまちは新しい町のイメージがある。町全体のブランド力をあげるための施策が必要であると思うので、外部からの意見を積極的に取り入れてほしい。また、本委員会の金融機関に求められる役割は資金調達になるのか?

回答) 金融機関にお願いしたいのは、資金調達というよりは、まちづくりの成功事例やノウハウのご提供をいただければと考えている。

委員長) 次回からは具体的な検討に入っていくので、そのために確認しておきたいことはあるか?

委員) 多くの人を呼び込むには、どの年代を主要なターゲットにするのか、戦略的に考えていくことが求められると思う。

委員長) そのあたりの考え方については、庁内検討委員会での議論を経て必要な資料を準備いただき、WGや本委員会で議論することとしたい。

委員) プランは複数用意いただき、どれがいいのか検討する形でお願いしたい。

回答) 議論に広がりを持たせるためにも、1つではなく、複数のプランを準備する形で対応したい。

委員長) 本日の議論として、概ね出たようであるので、本庁舎跡地活用の検討方針やスケジュール等について、事務局から説明のあったような形で進めることとしてよろしいか？

全会一致

委員長) それでは、次回以降は、今確認した方法で進めていくこととしたい。今後の検討においては、建物の改修といったハードだけでなく、どのように利用するかソフトの部分が重要であり、両方を見据えた形で議論を積み上げていきたいと考えるので、よろしくお願ひしたいと思う。

## 9 閉会

署名

壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会

委員

板橋 徳治

委員

内山 功